

## 令和4年度 第2回 三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日 時：令和4年10月31日（月）

14:00～16:00

会 場：三重県勤労者福祉会館

5階第2教室

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 議事

一級河川雲出川水系（指定区間）の河川整備計画について、以下のとおり議事を行った。

### 委員

- ・今回の議事の河川整備計画は、実質赤川の計画であるが、指定区間となっている。今後は、指定区間の他の河川で河川整備計画を作成する場合、一冊ずつ個別に作成するのか。あるいは、一級河川雲出川水系（指定区間）河川整備計画の中に追加するのか。

### 事務局

- ・今回は、雲出川全体の中で、必要性があるということで赤川に絞っています。基本的には指定区間の整備計画ですので、中身を見直していきます。

### 委員

- ・前回の流域委員会での意見に対する回答として、流出抑制効果を計算した水田と、貯留施設を整備して流域治水をという水田と、住民アンケートの結果の「田畑は浸水しても良いわけではない」という意見のそれぞれが同じ水田を指しているのか、右岸側左岸側で別の水田を指しているのか、説明してほしい。

### 事務局

- ・雲出川左岸側は国が計画遊水地として位置づけていますが、右岸側の赤川流域の農地は計画遊水地ではありませんが、流出抑制効果を計算しましたし、住民アンケートの対象となっているものです。

### 委員

- ・これまでの流域委員会では、流路の整備と雲出川との合流点で水門を整備するという点が大きく議論の対象になっていたが、今回新たに橋梁の架替えというのものも出てきたので、それについても具体的に説明されたい。

#### 事務局

- ・河道の拡幅等により、県道松阪久居線の相互橋やその他の無名橋において橋梁の架替えが必要となってきます。近鉄橋梁の架替えは含んでいません。

#### 委員

- ・住民からのアンケートで、住民が抱えている懸念に対して、今回の整備でどう解消されるのかなどのフィードバックやPRのようなことは考えているか。

#### 事務局

- ・パブリックコメントの募集のほか、具体的には決まっていますが、地元に対して何らかのフィードバックやPRを行うことを考えています。

#### 委員

- ・昭和 57 年の洪水の確率規模は何年ぐらいか。
- ・用いているのは赤川の降雨か。

#### 事務局

- ・雲出川全体として概ね 1/40 です。昭和 57 年の洪水は赤川だけで見ると少し確率規模は下がりますが、雲出川本川の計画と合わせています。
- ・雨量観測所自体が赤川流域にないので、雲出川の計画の中の降雨を合理式に当てはめています。

#### 委員

- ・河川から水があふれたときの補償の問題で、農地を遊水地として使うのであれば、対応方針を早めに示さなければ地元に対しての答えがぶれるのではないか。

#### 事務局

- ・赤川流域については計画的な遊水地に位置付けていないため、補償等の対応はできない地域となっています。

#### 委員

- ・雲出川右岸側である赤川流域の田畑が浸水するというのは整備途上で仕方なく、計画的でもないので、我慢してもらおうようなところがあると思うが、田畑が浸水することについてのアンケートの意見に対しては、地元に関心があるところを回答したほうがよい。

#### 委員

- ・赤川において、水位計の設置や流量観測を行う予定はあるか。

#### 事務局

- ・現在は水位計を設置しておらず流量観測も行っていませんが、今後、雲出川の整備が進んで、赤川の整備も進んでいく中で必要に応じて、水位計を設置して観測していきたいと考えています。

#### 委員

- ・アンケートで水質の改善を求める意見もあったため、水質観測も実施するとよい。

#### 委員

- ・水田が貯留施設として役に立っているかどうかを評価する際には、水田の面積は大きいため、流量だけではなく貯留量も加えるとよい。

#### 委員

- ・防災的な対策事項が書かれており、その中に、総合的な被害軽減対策を市等関係機関が地域住民と連携して推進するという記載や、地域住民の防災訓練の参加等が記載されているが、具体的なことは今の時点で決まっているか。

#### 事務局

- ・具体的な対策は防災部局との調整になってきますが、河川管理者としてできることで、水位観測をしていないという中でも危機管理型の水位の情報を発信するなどの対策を、防災部局や市町と連携しながら考えていきたいと思えます。

#### 委員

- ・赤川は非常に特殊な条件のところであるため、国との連携が大事だと思う。国としっかり連携しながら進めてほしい。

#### 4. 閉会